

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス KID ACADEMY 大久保校		公表日		2025年 2月 18日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		机の配置を考慮し、学習を行うスペースと、身体を動かして遊ぶスペースを分けています。事務所スペースにパーティションで分けて個別の空間を設けて、音の配慮や集中して学習できるようにしています。	身体をしっかりと動かしたい児童が多いので、公園や広場などに行く機会を増やしたいと考えています。ボールを使った遊びを行うため、スポーツ交流館への利用も始めたので、定期的な利用ができればと考えています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		事前に利用人数の予定を見ながらパート職員の配置を考え、指導員の人数が適切になるよう工夫しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		バリアフリーの室内で、棚の角にクッションをつけるなど危険を減らしています。ホワイトボードなどで、視覚支援を補っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		気持ちよく過ごしていただけるよう、フロアのレイアウト、整理整頓、掃除、換気の確保を心掛けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		事務所に小スペースを作り、クールダウンや個別対応に用いています。専門的支援を行う際は個室を使用し、集中して行えるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		朝のミーティングや児童の帰宅後に情報を共有して支援の改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		継続して取り組んでいくことや、改善点など真摯に受け止め、支援に生かしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎朝のミーティングで、支援内容や業務内容についての話し合いを行い、工夫できる点など見直しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		第三者による外部評価は行っていません。今後行っていく予定です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部講師を呼び、新しい知識を学ぶ機会を設けています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		毎月カレンダーにカリキュラム内容の一覧を示したものを配布しています。毎月のテーマに沿って5領域を意識し作成しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		職員全員でアセスメントを行い、ご家族や相談支援員の情報を含めて、個別支援計画を作成しています。	今後は相談支援員や学校、他事業所にも声をかけ、ニーズや課題について客観的に分析できるように努めてさせていただきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別の目標や振り返りなどを、それぞれの職員が考え、意見を発表する場を設けています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画書を定期的に確認し、それに沿った支援ができるよう心がけています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		お子様の状況に応じた、個別活動、集団活動を組み合わせた個別支援計画の作成を心掛けています。	日々の様子をしっかりと観察し、標準化されたツールを用いたアセスメントを使用していきます。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		お子様の躰き、困り事を5領域にわけ、ねらいを考慮し、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		プログラム内容のアイデアをそれぞれが出し合い、チームで取りまとめて決めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		1年の中でテーマに沿って、季節の行事を考慮し、活動内容が固定化しないよう留意しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		お子様の状況に応じた、個別活動、集団活動を組み合わせた支援を心掛けています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝のミーティングの中で流れや配置などを話し合って支援しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援終了後または次の朝のミーティングで必ず振り返りを行い、共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の支援の記録を徹底し、職員の中で共有し、今後の支援に活かしています。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的なモニタリングを実施し、保護者様との面談に職員も参加し、支援書の見直しを行っています。	今後は相談支援員や学校、他事業所にも声をかけ、ニーズや課題について客観的に分析できるように努めてさせていただきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		自立を促す活動や創作活動は日々実施しており、長期休暇には地域交流などを組み合わせ支援しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		選択肢を提示する声掛けを意識して自己決定する力を育てる支援を心掛けています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		専門的支援に関わる言語聴覚士の参加や児童に関わる指導員の参加のもと、会議を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		協力医療機関が設けています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校の送迎時に先生より児童の様子をお聞きしています。トラブルがあった場合などは保護者様にも共有させていただいています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	同じKIDの児童発達支援の校より、情報を共有しています。	今後はKID以外でも、就学前に利用していた園や事業所に必要に応じて情報共有と相互理解に努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	必要に応じて、本人の現時点の情報をまとめてお渡ししていますが、卒業後の支援の提供はしていません。	今後も必要に応じて、移行する場合は支援内容等の情報を提供をさせていただきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	地域の児童発達支援センターとの連携をお勧めしたり、KIDの発達相談窓口で竹田先生に繋げアドバイスを行っています。	各機関との連携を管理者だけでなく、指導員にも周知し、お子様の困り感を校だけでなく相談できるよう支援いたします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	まだ、放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会はありません。	事業所の行事への地域住民の招待などの活動や交流を検討してまいります。

関係機関や保護者との連携	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6		自立支援協議会への参加することで、他事業所の管理者との情報共有ができています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時、公式LINE、連絡ノートで情報を共有し、状況理解に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	ご家庭でできる対応についてはお伝えできるように努めています。zoomで家族支援のプログラムを開催しています。	今後は定期的に家族の参加できる機会を設け、引き続き保護者勉強会の開催の情報を提供します。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に、質問などいただき理解に努めています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者様と定期的に面談を行い、現状や今後の目標を設定し、本人にも意向を伺っています。	本人の意向を確認する場を設け、支援に取り入れてまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		面談の際に支援目標、支援内容を保護者様と確認しながら、説明しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者と面談を行い、現状や今後の目標を設定し、本人にも意向を伺っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	現在はまだ交流の場を提供できていません。利用前の体験として、ご兄弟と一緒に参加いただく場を設けています。	今後は定期的に保護者様同士が交流する機会を設けていけるよう努めます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		行政や会社への報告など、フローチャートを見ながら適切に対応できるよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月、マンスリーレポートを配布し、活動概要やカリキュラムの様子、内容をお伝えしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の書類や電子機器は施錠部に保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		障害のあるお子様や保護者様の意思疎通のために、情報を視覚を用いてお知らせすることや、公式LINEでの情報伝達をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	現在は行っていません。	今後は季節の行事などイベントを開催し、地域との交流を検討しています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		委員会を設置し、実施しています。また、実施内容をマンスリーレポートでお知らせしています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画(BCP)を策定し、必要な訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に、確認させていただいています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約時にアレルギーを確認させていただき、必要な児童においては医師の指示に基づき、対応を共有させていただいています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全管理に必要な研修や、不審者が来た時の対応など、実際に想定した訓練を行なっている。	

非常時等の対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画を作成し、安全を都度検討しながら、管理しています。	今後はマンスリーレポートで、安全確保に関して連携が図れるよう、取組内容について、ご家族等への周知に努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットはその都度作成し、次の日にはミーティングを行い、職員全体に共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		契約時にどのような場面でやむを得ず身体拘束を行うかについて、説明をさせていただいています。	やむを得ず身体拘束を行う際は、事前の説明とサービス計画書に記載させていただきます。